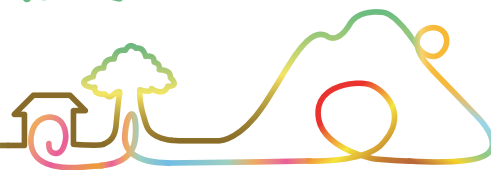


エコ・ハウスコンテスト いわて

岩手の「eco」な家、探しています



「リフォーム部門：参加申込みの手引き 2010」

- コンテスト設立趣旨
- 募集内容
- 審査基準
- 応募方法
- 賞と表彰
- 応募用紙

リフォーム部門

応募締め切り：2010年11月30日（火曜日）

今年度より「リフォーム部門」が新設されました。
リフォーム部門でエントリーを予定されている方はお手数ですが
事務局まで事前に一報をお願いいたします。
細かな点をお伝えしたいと思います。

さらに詳しい最新の情報はホームページにてご案内しています

<http://eco-con.jp>

■ エコ・ハウスコンテスト いわて 設立趣旨

岩手県内の住宅で様々な省エネの取組みが行われ、また新エネルギーや再生可能エネルギーに対する導入も積極的に試みられています。それらを表彰し広く岩手県民に知らしめる、いわて省エネ・新エネ住宅大賞という表彰制度が、岩手県の主催で、平成 15 年から平成 17 年まで続けられました。

平成 18 年度は民間の実行委員会と岩手県の共催で事業を継承しようと云う機運が高まり、名称も、いわて省エネ・新エネ住宅大賞から「エコ・ハウスコンテスト いわて」と改め新組織で活動し、2010年度で5年目を迎えます。今年度は既設住宅について新たにリフォーム部門のコンテストを設け、新築部門とは別に審査をいたします。

高齢化が進む中、室内の快適性(冬の暖かさ)は不可欠であり、またエネルギー価格の上昇も避けられない現状に有ります。快適性を倍増して、エネルギー消費量を1/2以下に押さえる。更なる【快適・省エネ・CO₂ ダイエット】=エコ・ハウスを岩手県内に普及させるために、以下の活動をして参ります。是非、趣旨にご賛同頂き参加頂きたいとお願いする次第です。

主な事業

- 岩手県が主催してきた、いわて省エネ・新エネ住宅大賞の表彰制度を「エコ・ハウスコンテスト いわて」と名称変更して表彰制度を継承する。
- 一定の基準を満たしたエコ・ハウスビルダーを認証し情報公開する。
- エコ・ハウスはユーザーにとっても魅力が多いことを啓発し理解者を増やして行く。
- ハウスビルダー、設計者に対し更なる省エネ住宅の魅力に関する啓発活動を行う。
- 既存建物の世帯数は49万件に及んでいる、省エネ効果も大きい既存の建物にも着目し、省エネ提案をPRして行く。

■ コンテストについて

「エコ・ハウスコンテストいわて」では、以下のような岩手県の住宅を、広く募集しております。自慢のエコリフォーム住宅に住んでいる方、我こそはと思っているハウズビルダー、「エコな暮らし」の家々。多くの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

募集内容

3年以内にリフォームが施された岩手県内の「エコ」な住宅で、
リフォーム後、一年以上経過した住宅を対象とします。

審査基準

住宅性能として、熱損失係数（Q 値）は $1.6\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$ 以下、又は部位の熱貫流率 U 値が H11 年基準（次世代省エネ基準）を満たしていること。
持ち込み設備の効率向上も評価の対象といたします。

* 断熱・気密計画

表面結露・内部結露が起らないよう配慮されていること。

プラスチック系防湿フィルム等が正しく施工されていること。

* 長寿命

* 暖房計画

* 換気計画

* 給湯計画

* 電気設備計画

* 涼房（防暑）計画

* イニシャルコスト

* ランニングコスト

などを総合的に評価し、各賞を選出する。

（大賞候補については現地審査をする場合があります）

応募締め切り

2010年11月30日（火曜日）までにご応募下さい

審査料

応募1棟に対し10,000円を申し受けます。

下記の口座に振込をお願いします。

岩手銀行 松園支店 普通口座 2119718

エコハウスコンテストいわて 実行委員長 佐々木隆

■ 応募方法

必要書類をファイルにまとめ、同構成の応募ファイルを2部作成し、事務局までお送りください

リフォーム部門でエントリーを予定されている方はお手数ですが事務局まで事前に一報をお願いいたします。細かな点をお伝えしたいと思います。

担当:長土居 (nagadoi@mac.com / 080-5550-3566)

● 応募書類の郵送先

〒020-0852 盛岡市盛岡駅西通り1-7-1 アイーナ5F環境学習センター内
環境パートナーシップいわて エココン審査委員会 事務局宛

●以下の書類を揃え、同構成のファイルを2部作成してください

- 表紙
- 作品概要
- 改修前・後の写真
(外観:東西南北4カット以上、向こう三軒両隣、周囲が判るもの)
- 改修前・後の写真
(室内:美しさ、素敵な暮らしを表現したもののリビング、ダイニング等2カット以上)
- 配置図
- 平面図
- 立面図
- 矩計り図 (断熱位置、種類、厚さ、サッシの詳細がわかる図面)
- アンケート
- その他、省エネを如何に考えたかアピール出来る書類 (自由提出)
- 暖房設備図 (熱源カタログコピー添付の事)
- 換気設備図
- 給湯設備図 (熱源カタログコピー添付の事)
- 熱損失係数計算書のコピー
- 気密測定結果データシート
- 付近見取図
- 基礎伏せ図

■ 賞と表彰について

審査委員会による厳正な審査において、熱損失係数 (Q値) 1.6 W/m²・K 以下は全て認証し、その中から「エコ・ハウスコンテストいわて」エコリフォーム大賞が1作品と金賞作品が選出されます。選出された作品は表彰とともに、以下の特典があります。

● 施主へ

「エコ・ハウスコンテストいわて」リフォーム部門認証プレートと副賞

● ビルダー・設計者・施工者には

「エコ・ハウスコンテストいわて」リフォーム部門認証プレート

● 2作品以上基準をクリアした場合は

「エコ・ハウスコンテスト いわて」基準をクリアした住宅を2棟以上申請したビルダーには「**エコ・ビルダー認証**」が発行され、各種媒体などでお使いいただけます。
新築とリフォームそれぞれ1棟でも可。

年間を通して「エコ・ハウスコンテスト いわて」が実施する、エコハウスの普及啓発活動において、受賞作品やエコビルダー各社は、様々な媒体でご紹介しております。

過去の受賞作品はホームページにてご覧いただけます。

<http://eco-con.jp>

「エコハウスコンテストいわて」 リフォーム部門 応募用紙 表紙

作品名

--

申請者

住所	〒		
会社名 <small>(個人の場合は 記入不要)</small>			電話：
担当者			
メールアドレス：		ホームページ URL：	

申請用チェックシート

1. 応募用紙表紙（この用紙です）
2. 作品概要書（リフォーム内容）
3. 改修前・後の写真（外観：東西南北4カット以上、向こう三軒両隣、周囲が判るもの）
4. 改修前・後の写真（室内：美しさ、素敵な暮らしを表現したもの
リビング、ダイニング等2カット以上）
5. 配置図
6. 平面図
7. 立面図
8. 矩計り図（断熱位置、種類、厚さ、サッシの詳細がわかる図面）
9. アンケート
10. その他、省エネを如何に考えたかアピール出来る書類（自由提出）
11. 暖房設備図（熱源カタログコピー添付の事）
12. 換気設備図
13. 給湯設備図（熱源カタログコピー添付の事）
14. 熱損失係数計算書のコピー
15. 気密測定結果データシート
16. 付近見取図
17. 基礎伏せ図

リフォーム部門でエントリーを予定されている方はお手数ですが事務局まで事前に一報をお願いいたします。
細かな点をお伝えしたいと思います。 担当：長土居（nagadoi@mac.com / 080-5550-3566）

申請資料は匿名を原則とします。会社名の部分はホワイト(修正液)などでマスキングをした上で提出をお願いいたします。(公平を期する上で匿名の申請書類と致します) 上記チェックシートの順番通りにファイルに綴じ、書類がバラバラにならないようにご応募していただくようよろしくお願い申し上げます。ご応募いただいた各種書類は基本的に返却できませんのでご了承下さい。

エコハウスコンテスト いわて リフォーム部門「応募作品概要書」

作品名		
建築場所		
建築期間		
工法		
延べ床面積		
断熱仕様	基礎・床	
	壁	
	屋根	
	開口部	
	ドア	
熱損失係数Q値		
総熱損失係数		
隙間相当面積C値		
換気システム		
暖房設備		
給湯設備		
暖房用灯油使用量		L/年
使用電力量 (計算値)		kWh/年
		ヒートポンプの場合、空気熱COP-2、地中熱COP-3で計算のこと

「エコ・ハウスコンテスト いわて」リフォーム部門 アンケート用紙

下記の項目をどのように考えて住宅を建築したのか記入をお願いします。

施主の立場で考えたこと

快適な室内環境 寒さ 暑さ	健康な暮らしを支える 冬の空気環境 夏の空気環境	環境負荷を最小限に抑える (再生可能資源の利用)
エネルギーの消費を抑える (再生可能エネルギーの利用)	経済性 暖房費	耐久性について考慮した点

設計者の立場で考えたこと

快適な室内環境	健康な暮らしを支える	環境負荷を最小限に抑える (再生可能資源の利用)
エネルギーの消費を抑える (再生可能エネルギーの利用)	経済性	耐久性について考慮した点

施工者の立場で考えたこと

快適な室内環境	健康な暮らしを支える	環境負荷を最小限に抑える (再生可能資源の利用)
エネルギーの消費を抑える (再生可能エネルギーの利用)	経済性	耐久性について考慮した点

建築コストについて

設備費

新エネ設備費

総工費 (外構工事費除く) 万円	暖冷房 万円	太陽発電 万円
	換気 万円	(その他) 万円
	給湯 万円	() 万円